

平成 27 年 10 月 28 日
沖縄電力株式会社

移動用発電設備（ディーゼル第6・7・8号）の運用開始について

当社は、離島における常用電源の不測の故障や想定以上の需要の伸び等に対して供給力不足が生じた場合の緊急対応用として、移動用発電設備（ディーゼル第6・7・8号）の導入に取り組んでおりましたが、本日、運用開始しましたのでお知らせします。

今回、運用を開始した移動用発電設備（ディーゼル第6・7・8号）の発電出力は各1,000kWで、今後は同機を含め合計11台の移動用発電設備（総設備容量14,200kW）で離島における緊急対応用の供給を担うことになります。

当社は、今後もユニバーサルサービスを堅持し、離島系統における電力の安定供給に努めてまいります。

<移動用発電設備の概要>（6・7・8号とも同型機）

機関種類	: ディーゼル機関（4サイクル直接噴射式12シリンダ）
機関型式	: 4012-46TAG2A（メーカー：PERKINS）
発電機型式	: E-AF（メーカー：株明電舎）
出力	: 1,000 kW（発電端）
回転数	: 1,800 r p m
燃料の種類	: A重油



移動用発電設備（ディーゼル） 外観①



移動用発電設備（ディーゼル） 外観②

<当社所有移動用発電設備一覧>

移動用発電設備	出力[kW]	備考
ガスタービン第 3 号	2,000	
ガスタービン第 4 号	1,000	
ガスタービン第 5 号	1,000	
ガスタービン第 12 号	3,000	
ガスタービン第 13 号	3,000	
ディーゼル第 3 号	400	
ディーゼル第 4 号	400	
ディーゼル第 5 号	400	
ディーゼル第 6 号	1,000	※今回運用開始
ディーゼル第 7 号	1,000	※今回運用開始
ディーゼル第 8 号	1,000	※今回運用開始
合計	14,200	

以 上